

平成29年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年7月13日

上場会社名 日創プロニティ株式会社 上場取引所 福  
 コード番号 3440 URL http://www.kakou-nisso.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石田 徹  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 諸岡 安名 TEL 092-552-3749  
 四半期報告書提出予定日 平成29年7月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年8月期第3四半期の連結業績（平成28年9月1日～平成29年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年8月期第3四半期	4,634	39.2	636	17.9	665	21.0	435	22.5
28年8月期第3四半期	3,330	—	539	—	550	—	355	—

(注) 包括利益 29年8月期第3四半期 439百万円 (23.8%) 28年8月期第3四半期 355百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年8月期第3四半期	61.08	—
28年8月期第3四半期	49.75	49.52

(注) 1. 平成28年8月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成28年8月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(注) 2. 平成29年8月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年8月期第3四半期	10,207	7,634	74.8
28年8月期	9,452	7,407	78.4

(参考) 自己資本 29年8月期第3四半期 7,634百万円 28年8月期 7,407百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年8月期	—	0.00	—	30.00	30.00
29年8月期	—	0.00	—		
29年8月期(予想)				25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年8月期の連結業績予想（平成28年9月1日～平成29年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,200	45.2	747	24.1	789	28.3	522	34.1	73.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年8月期3Q	7,360,000株	28年8月期	7,360,000株
② 期末自己株式数	29年8月期3Q	235,350株	28年8月期	235,350株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年8月期3Q	7,124,650株	28年8月期3Q	7,139,607株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9
3. 補足情報	10
生産、受注及び販売の状況	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、政府と日銀による経済政策及び金融緩和政策の継続等を背景に緩やかな回復基調が続き、企業収益及び企業の業況判断についてはともに改善しており、設備投資には持ち直しが見られました。

このような状況の中、当社グループ（当社及び連結子会社）は中期経営計画に基づいて、M&Aによる事業領域の拡大を継続し、当第3四半期連結会計期間において、金属精密切削加工業の綾目精機株式会社を子会社化いたしました。

当第3四半期連結累計期間の業績は、前第3四半期連結会計期間における吾孺ゴム工業株式会社の子会社化及び日創エンジニアリング株式会社の設立が寄与し、売上高は4,634百万円（対前年同四半期比39.2%増）、営業利益は636百万円（同17.9%増）、経常利益は665百万円（同21.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は435百万円（同22.5%増）となりました。

なお、セグメント別の業績は次のとおりであります。

## &lt;金属加工事業&gt;

新規取引先の開拓、既存取引先のリピートに積極的に取り組むとともに個別案件に対しきめ細かな営業対応を行い、売上高は3,289百万円（対前年同四半期比1.2%減）、セグメント利益は658百万円（同19.5%減）、当第3四半期連結累計期間末における受注残高は3,009百万円（同140.0%増）となりました。

なお、平成29年4月7日付けで、金属精密切削加工業の綾目精機株式会社を子会社化し、みなし取得日を当第3四半期連結会計期間末（平成29年5月31日）としているため、金属加工事業については、同社の業績を含めておりません。

## &lt;ゴム加工事業&gt;

電力会社向け部材及び土木資材等が堅調に推移し、売上高は942百万円、セグメント利益は179百万円、当第3四半期連結累計期間末における受注残高は72百万円（対前年同四半期比51.1%増）となりました。

なお、平成28年3月15日付けで吾孺ゴム工業株式会社を子会社化し、みなし取得日を前第3四半期連結会計期間末（平成28年5月31日）としているため、ゴム加工事業については、受注残高を除き前年同四半期比を記載しておりません。

## &lt;建設事業&gt;

親会社との情報連携を図り営業活動に取り組んだ結果、売上高は402百万円、セグメント利益は45百万円（前年同四半期は1百万円のセグメント損失）、当第3四半期連結累計期間末における受注残高は49百万円となりました。

なお、平成28年4月28日付けで日創エンジニアリング株式会社を設立いたしました。建設事業については、セグメント損失を除き前第3四半期連結累計期間の比較情報が存在しないため、前年同四半期比を記載しておりません。

（注）セグメント利益の合計額と営業利益との差異△247百万円は、主として各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は7,124百万円となり、前連結会計年度末に比べ406百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が931百万円減少し、受取手形及び売掛金が914百万円、仕掛品が180百万円、原材料及び貯蔵品が142百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定資産は3,082百万円となり、前連結会計年度末に比べ348百万円増加いたしました。これは主に、有形固定資産が191百万円増加したことによるものであります。

この結果、資産合計は10,207百万円となり、前連結会計年度末に比べ754百万円増加いたしました。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は1,417百万円となり、前連結会計年度末に比べ312百万円増加いたしました。これは主に、工事未払金が198百万円、未払法人税等が116百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定負債は1,155百万円となり、前連結会計年度末に比べ216百万円増加いたしました。これは主に、長期借入金が120百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は2,573百万円となり、前連結会計年度末に比べ528百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は7,634百万円となり、前連結会計年度末に比べ226百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に係る四半期包括利益439百万円及び剰余金の配当213百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は74.8%（前連結会計年度末は78.4%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向等を踏まえ、平成28年10月14日の「平成28年8月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想の修正を行っております。詳細については、本日（平成29年7月13日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,998,692	4,067,162
受取手形及び売掛金	996,545	1,911,118
完成工事未収入金	—	130,497
商品及び製品	36,505	89,195
仕掛品	168,279	349,150
未成工事支出金	—	10,097
原材料及び貯蔵品	366,245	508,416
その他	151,547	59,279
貸倒引当金	△258	△476
流動資産合計	6,717,557	7,124,440
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	942,429	965,788
機械装置及び運搬具(純額)	849,159	901,746
土地	645,888	645,888
リース資産(純額)	25,741	121,433
建設仮勘定	11,498	25,486
その他(純額)	25,342	31,591
有形固定資産合計	2,500,058	2,691,934
無形固定資産		
のれん	111,172	161,766
その他	65,518	53,263
無形固定資産合計	176,691	215,029
投資その他の資産		
投資有価証券	43,439	60,736
その他	18,189	114,994
貸倒引当金	△3,857	△83
投資その他の資産合計	57,771	175,647
固定資産合計	2,734,521	3,082,611
資産合計	9,452,078	10,207,052

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	176,861	219,489
工事未払金	—	198,009
短期借入金	440,000	360,000
1年内返済予定の長期借入金	162,862	156,178
未払法人税等	37,336	153,598
賞与引当金	3,058	36,091
その他	284,872	294,210
流動負債合計	1,104,991	1,417,577
固定負債		
長期借入金	430,671	551,020
退職給付に係る負債	42,550	46,997
資産除去債務	1,307	1,792
その他	464,676	555,617
固定負債合計	939,204	1,155,428
負債合計	2,044,195	2,573,005
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,176,968	1,176,968
資本剰余金	1,096,968	1,096,968
利益剰余金	5,323,172	5,544,614
自己株式	△187,361	△187,361
株主資本合計	7,409,747	7,631,188
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,864	2,857
その他の包括利益累計額合計	△1,864	2,857
純資産合計	7,407,883	7,634,046
負債純資産合計	9,452,078	10,207,052

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成29年5月31日)
売上高	3,330,198	4,634,435
売上原価	2,146,978	3,276,728
売上総利益	1,183,220	1,357,706
販売費及び一般管理費	643,675	721,571
営業利益	539,545	636,135
営業外収益		
受取利息	1,132	192
受取配当金	1,530	1,932
受取家賃	3,739	3,877
受取補償金	3,199	1,217
助成金収入	-	16,368
その他	4,174	11,209
営業外収益合計	13,776	34,798
営業外費用		
支払利息	1,823	4,378
自己株式取得費用	788	-
その他	350	893
営業外費用合計	2,963	5,271
経常利益	550,358	665,661
特別利益		
固定資産売却益	-	1,109
投資有価証券売却益	-	293
特別利益合計	-	1,403
特別損失		
固定資産売却損	-	0
固定資産除却損	222	199
特別損失合計	222	200
税金等調整前四半期純利益	550,136	666,864
法人税、住民税及び事業税	171,251	232,563
法人税等調整額	23,693	△879
法人税等合計	194,945	231,683
四半期純利益	355,191	435,180
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	355,191	435,180

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成29年5月31日)
四半期純利益	355,191	435,180
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	-	4,722
その他の包括利益合計	-	4,722
四半期包括利益	355,191	439,903
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	355,191	439,903
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、当第3四半期連結累計期間において、綾目精機株式会社を子会社化したため、連結の範囲に含めております。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## (セグメント情報)

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年9月1日至平成28年5月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 3	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 4
	金属加工事業	ゴム加工事業 (注) 1	建設事業 (注) 2	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,330,198	—	—	3,330,198	—	3,330,198
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,330,198	—	—	3,330,198	—	3,330,198
セグメント利益又は損失(△)	818,956	—	△1,473	817,482	△277,937	539,545

- (注) 1. ゴム加工事業につきましては、平成28年3月15日付けで、吾嬬ゴム工業株式会社を子会社化いたしました。みなし取得日を当第3四半期連結会計期間末(平成28年5月31日)としているため、貸借対照表のみを連結しており、業績の計上はありません。
2. 建設事業につきましては、平成28年4月28日付けで日創エンジニアリング株式会社を新たに設立いたしました。一般建設業の許可の申請中であるため、売上高の計上はありません。
3. セグメント利益の調整額△277,937千円は、セグメント間取引消去267千円、子会社株式の取得関連費用△46,985千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△231,218千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。
4. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年9月1日至平成29年5月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	金属加工事業 (注) 1	ゴム加工事業	建設事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,289,732	942,038	402,664	4,634,435	—	4,634,435
セグメント間の内部売上高 又は振替高	28,409	1,249	—	29,658	△29,658	—
計	3,318,142	943,287	402,664	4,664,094	△29,658	4,634,435
セグメント利益	658,860	179,219	45,392	883,472	△247,337	636,135

- (注) 1. 金属加工事業につきましては、平成29年4月7日付けで、金属精密切削加工業の綾目精機株式会社を子会社化し、みなし取得日を当第3四半期連結会計期間末(平成29年5月31日)としているため、同社の業績を除いて記載しております。
2. セグメント利益の調整額△247,337千円は、セグメント間取引消去18,155千円、子会社株式の取得関連費用△26,592千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△238,900千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「金属加工事業」セグメントにおいて、当第3四半期連結会計期間に株式取得により綾目精機株式会社を子会社化したことに伴い、同社を当第3四半期連結会計期間から連結の範囲に含めております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において、67,551千円であります。

## 3. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

## ①生産実績

当第3四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年9月1日 至 平成29年5月31日)	
	金額(千円)	前年同期比(%)
金属加工事業	2,357,425	110.8
ゴム加工事業	442,755	—
合計	2,800,181	131.6

- (注) 1. 金額は製造原価によっており、セグメント間の内部振替前の数値によっております。  
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
 3. 平成29年4月7日付けで、綾目精機株式会社を子会社化し、みなし取得日を当第3四半期連結会計期間末(平成29年5月31日)としているため、金属加工事業については、同社の生産実績を含めておりません。  
 4. 平成28年3月15日付けで、吾嬭ゴム工業株式会社を子会社化し、みなし取得日を前第3四半期連結会計期間末(平成28年5月31日)としているため、ゴム加工事業については、前年同期比を記載しておりません。  
 5. 建設事業については、生産実績を定義することが困難であるため、生産実績を記載しておりません。

## ②受注状況

当第3四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年9月1日 至 平成29年5月31日)			
	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
金属加工事業	2,954,778	87.7	3,009,980	240.0
ゴム加工事業	955,786	—	72,983	151.1
建設事業	452,018	—	49,354	—
合計	4,362,583	129.4	3,132,317	240.5

- (注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。  
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
 3. 平成29年4月7日付けで、綾目精機株式会社を子会社化し、みなし取得日を当第3四半期連結会計期間末(平成29年5月31日)としているため、金属加工事業については、同社の受注高を含めておりません。  
 4. 平成28年3月15日付けで、吾嬭ゴム工業株式会社を子会社化し、みなし取得日を前第3四半期連結会計期間末(平成28年5月31日)としているため、ゴム加工事業の受注高については、前年同期比を記載しておりません。  
 5. 平成28年4月28日付けで日創エンジニアリング株式会社を設立しましたが、前第3四半期連結累計期間の受注高及び同連結累計期間末現在の受注残高は該当事項がありませんので、建設事業については、前年同期比を記載しておりません。

## ③販売実績

当第3四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年9月1日 至 平成29年5月31日)	
	金額(千円)	前年同期比(%)
金属加工事業	3,289,732	98.8
ゴム加工事業	942,038	—
建設事業	402,664	—
合計	4,634,435	139.2

(注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。

2. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年9月1日 至 平成28年5月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年9月1日 至 平成29年5月31日)	
	金額(千円)	割合(%)	金額(千円)	割合(%)
新日鉄住金エンジニアリング株式会社	73,618	2.2	503,862	10.9

3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

4. 平成29年4月7日付けで、綾目精機株式会社を子会社化し、みなし取得日を当第3四半期連結会計期間末(平成29年5月31日)としているため、金属加工事業については、同社の販売実績を含めておりません。

5. 平成28年3月15日付けで、吾孺ゴム工業株式会社を子会社化し、みなし取得日を前第3四半期連結会計期間末(平成28年5月31日)としているため、ゴム加工事業については、前年同期比を記載しておりません。

6. 平成28年4月28日付けで日創エンジニアリング株式会社を設立しましたが、前第3四半期連結累計期間の販売実績は該当事項がありませんので、建設事業については、前年同期比を記載しておりません。